

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010101020300		事業の種類	4	
年度	23	事務事業名	こども医療費助成事業		予算事業名	こども医療費助成事業 重要度 5	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民環境部市民課		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	横川 昌紀
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		こども医療費助成事業(総額)					
根拠法規及び関連法規		こども医療費助成要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	こども医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	こども医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす					
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)		事業完了予定年度	(年度)	

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学4年から中学3年の児童・生徒の医療費を助成する(H22年度からの新規事業) H22年度は入院医療費の自己負担分を助成 H23年度から対象を通院医療費にも拡大				
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画
	助成費	円		216,441	22,348,111	30,000,000
	助成件数	件		6	6,559	5,960
	対象者数	人		1,668	1,411	1,500

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.024	92	0.026	108	
	参事以下職員	0.000	0.058	-	0.248	428	0.265	107	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.031	-	0.026	84	
支出内訳	人件費	0	685,692	-	2,346,101	342	2,413,522	103	
	事業費	0	216,441	-	22,348,111	10,325	30,000,000	134	
	合計	0	902,133	-	24,694,212	2,737	32,413,522	131	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	0	179,521	-	1,979,265	1,103	3,772,000	191	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	0	722,612	-	22,714,947	3,143	28,641,522	126	
合計		0	902,133	-	24,694,212	2,737	32,413,522	131	

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	/
全体進捗率	事業費累計				
進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りのこども医療費助成							
指標説明(式)		助成費/対象者数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標		3,597	-	11,176	310.7	20,000	179.0	
	実績		130	-	15,838	12183.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		こども医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	411	-	405	98.5	
	実績		114,282	-	358	0.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	子育て世代が安心して子育てできるよう、小学4年生から中学3年生までのこどもに係る医療保険における自己負担分の助成を行うことにより、経済的負担の軽減を図った。	5
有効性	成果目標(改善)達成度	制度開始当初は入院にかかる医療費のみの助成であったが、通院にかかる医療費まで拡大することで、子育て世代の経済的負担のさらなる軽減を図ることができた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	1件当りのコストを節減した。	5
	執行体制の効率性	償還払いを改め現物給付とすることで受給者の利便性と業務の効率性を高めることができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	支払や報告における乳幼児医療費助成事業との仕分け作業が煩雑になっている。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	乳幼児医療費助成制度とは別の法別番号の導入

配点	32.5
総合評価	32.5